

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度高松市スポーツ推進審議会
開催日時	令和4年3月2日(水) 18時30分～19時45分
開催場所	高松市防災合同庁舎3階302会議室
議 題	高松市スポーツ推進計画の進捗状況について 令和3年度・4年度におけるスポーツイベント・施設の状況について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	内海委員、大西委員、塩津委員、田村委員、西山委員、森委員、米村委員、山根委員 (欠席3名)
傍聴者	0人 (定員 5人)
担当課及び連絡先	スポーツ振興課 839-2626

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

- 1 大西会長挨拶
- 2 事務局から、会議成立の報告後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開とすることを決定した。
- 3 議題
事務局から、「高松市スポーツ推進計画の進捗状況」及び「令和3年度・4年度におけるスポーツイベント・施設の状況」について、説明した。
- 4 主な意見、質疑等については次のとおり
○高松市スポーツ推進計画の進捗状況等について

【A委員】

広報誌におけるスポーツイベントの掲載方法について、QRコードでの確認では、高齢者やネットを使っていない方はほとんど見られない。アクセス数は増えているが、広報に載らないということで、若い人たちを中心にアクセスが増えているのではないかと推察している。

緊急事態宣言の時は、サンポートに散歩自粛の立て看板があったが、あれ以後立て看板はなく、高齢者や中年の方が散歩している。

一番簡単なのがウォーキングなので、今の形の広報が続くのであれば「コロナ禍の中でもウォーキングをしましょう」といった内容をQRコードの横にでも入れていただきたい。

【事務局】

広報誌については月2回から1回の配布となり、イベントに関しては、スペースが無くQRコードを取り込み、情報を知らせるという形になっている。

ホームページのアクセス数については、若い方が多いのではという御意見だが、そこも確かに理由としてはあると思う。実際分析したわ

会議経過及び会議結果

けではないが、コロナによるイベント等の開催有無の確認によるアクセス数もあるかもしれないし、興味を持ち見てくれるという人もいたのかもしれない。

A委員の言われた、高齢者の方については、スマホ教室といった事業がある一方で、まだ使いこなせない方もいらっしゃるの現実だと思う。そういった方へのイベント等の紹介方法は、懸案事項であり、紙媒体も確かに必要かと思うが、一方で環境面を考えて発行回数を減らしたという理由もあるので、そこは今後検討していきたいと思う。

また、広報誌におけるウォーキングに関する記載については、2回から1回の発行になったからといって紙面数は倍にはなっておらず、今はコロナ関係の必要な情報発信を適宜している状況である。

全体的な話の中で共通として出せるものがあるのであれば、広報課等には、こういった御意見は伝えていこうと思う。

【B委員】

1点目は高松市でのスポーツイベント等で、コロナの感染状況を把握できているか。またスポーツイベントが原因だとしたら反省と問題を教えていただきたい。

2点目は部活のことで、高松市アドバイザーシステム（タス）の登録者が着実に増えているが、今年度の派遣実績と、実際現場で何か問題とか効果とか把握しているのであれば紹介いただきたい。

【事務局】

まず1点目ですが、令和2年度については、みなさん心配され早めの対策をとり中止や延期の判断をしたと思う。

実際に開催した場合も、事前にスポーツ庁の出しているコロナ対策を実施している。また、大規模な、県外から来るといったイベントは比較的中止となっているので、結果として開催をした中では感染はないと思う。

【議長】

2点目の部活動におけるアドバイザーシステム（タス）については、コロナもあり、学校体育推進事業について今年度は開催できていない。

放課後の陸上教室等については、4、5校で、放課後の陸上教室にタスを派遣し、校長先生から、生徒はもちろんためになったが、それ以上に先生方が陸上の専門の方が来られて大変よかったと言われていたと聞いている。

高松市内のスポーツ施設でのスポーツ教室については、コロナの関係で、非常に人数が少なかったということも聞いている。

先ほどA委員から何とか教室を載せてくれないかという要望があったが、教室の方もタスの指導者の方が本当に有意義に指導していただいている。

【B委員】

タスは中学校がメインなのか？小学校の方には行っていないのか？

【議長】

小学校に行っている。中学校の休日の部活動にこれから派遣をしていくというのは、TASCAR（タスカ）委員会。

Takamatsu student sports creative reform という、高松市教育委員会の保健体育課を中心に関係の方々で会合を持っている。

本格実施は令和5年度からと聞いているが、先般の会議で、来年度に少し前進をさせてモデル校的なものを実施していこうと、来るべき時に備えている。

会議経過及び会議結果

【C委員】

私は、高齢者対象の教室や簡易研修をしているが、高齢者はコミュニティセンターを中心に活動している。前はコミュニティセンターが休館したが、今回は休館せず開いているので、高齢者も運動教室等に参加できている状況だ。高齢者の場合、環境面で、教室やイベントに参加するのは大変なので、コミュニティセンターを中心にして、体力をアップしたり簡単な運動を広めていきたいと考えている。

コミュニティ推進課がコミュニティセンターと関係していると思うが、そこの関わりについてはどうなのか。

【事務局】

事業等はコミュニティ推進課で所管していると思う。コロナの影響でコミュニティセンターを閉めるとなってきた場合には、施設の面では、スポーツ施設の利用も含めて検討していく場合もあると伺っている。コミュニティセンターは高齢者の利用が多く、多くの人が集まる場所になるので比較的他の施設よりも早く閉める可能性は高いと思う。

スポーツとの直接的な関係については、コロナ禍における情報共有をしている程度である。

【C委員】

高齢者の実施率向上を考えたら、コミュニティセンターとの協力は必要不可欠だと思うので、その辺も検討いただきたい。

【事務局】

コミュニティセンターを利用される方に、スポーツ施設のイベントの案内等参加誘導してもらうためのチラシをお願いするといった形で事業自体は今後検討していくべきものと考えている。

【D委員】

高松市アドバイザースポーツシステムについて、今後中学校への派遣もあるのであれば、指導者を増やさないといけないと思うが、タスの登録講習会が年に1回しかない。講習会を年に複数回開き、もっと認知度を上げるというのはどうか。

【議長】

今年についてはコロナもあったので、1回の開催となり先週の土曜日に開催を踏み切って約20名の方が参加された。

中学校の部活にこれから指導者を派遣していかなければならないとなったら、野球やサッカー等中学校での部活動をしている数が多い、指導者のニーズが高い競技については人数を増やしていかなければならないと考えている。

同時に、回数について増やす必要があるということは、十二分に理解をしているので、少しお時間いただいてそれを反映したいと思う。

【E委員】

来年2023年までに成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%にするという高い目標を立ててやっているが、実際はどうか。

70%を達成するにあたっては、20代、30代、40代の方の運動実施率を上げていかないとかなり厳しいものがあるのではないかと。

先日の仏生山におけるパラスポーツ体験会では、親子で来られた方が多く、大半の方が子供が興味を持ち一緒に来たという方が多かった。

こどもの国や屋島等を使ってのリレーマラソンを年に何回か開催できれば、それを目標に、土日等の空いている時間に親子で一緒に練習するのではないかと。そうすれば、週1回の運動実施率が上がるのではないかと。親子で楽しめるようなイベントを考えていただけたらと思う。

会議経過及び会議結果

【事務局】

新しいイベント等については、スポーツ協会とも連携し検討する。

時期的にオリンピック・パラリンピックの開催後で盛り上がったのかと思うが、私たち行政としては、その熱を冷まさないよう、本市出身のオリンピック・パラリンピアンの方との連携も期待している。コロナで中止にはなったが、1月、2月のイベントの中でもオリンピック・パラリンピアンに参加をいただき体験会を行う予定であった。

今後こういった事業を検討していきたいと思う。

【議長】

5月のスポーツカーニバル、10月のトリムの祭典、2月のスポーツ・健康感謝祭があり、これ以上大きなイベントをなかなか増やすのは難しい。今あるイベントの中で、親子が一緒に参加できるものを考えていきたいと思う。

【F委員】

小学校の体育館を利用し、高松市を4ブロックに分けスポーツ推進委員が体力測定とパラスポーツをセットで開催している。体力測定は、運動している方、していない方も、自分の健康状態、体力の現状を知る上ではとてもいい事業だと思う。

校区のスポーツ推進委員を対象に募集をかけるが、一度広報で募集をしてもらった。広く皆さんに周知し、もう少したくさんの方に来ていただけたらと思う。

【議長】

コミュニティセンターにも、紙媒体が置けるようになれば、御年配の方に積極的に声をかけて、その施策は必要かと思う。

【事務局】

今この場で回答はできないが、コミュニティセンターを使う高齢者に紹介することによってというのは十分理解できる。

【議長】

あまり運動されてない方が、他の用事でコミュニティセンターに行った際に興味を持ってもらえるような情報発信というのは重要だと思うのでぜひ検討してもらいたい。

【A委員】

私の居住地区では、月末頃にA4サイズの表面に来月のごみ収集日や地域行事、裏面に前月の行事結果等が入ったものを全戸配布している。

コミュニティセンターに取りに行くというのはなかなか難しいが、マニュアル的なものを全戸配布して、これをやってくださいといった指導を行政がやっていただければ、もう少し各家庭にスポーツをしようという意識は芽生えると思う。

【事務局】

行政からコミュニティの方にお問い合わせの場合は、皆さん同じ内容で周知するものと認識する。地区ごとのマニュアルみたいなものの作成は現段階では難しいと思う。

【G委員】

市民プール、牟礼のプールがなくなる。それによって、よちよち歩きの子たちがそういう水遊びをする場所がなくなる。やはり小さい時からスポーツって楽しいと知ってもらいたいのに、そういう環境がどんどんなくなっている。今後どうやって、プールの環境を考えていくのか。

各学校にプールがあるが、ある一定の期間だけしか使ってない。3か所あるプールを1か所、中学校単位での利用にすれば、費用も3分の1で済み、それを室内、温水プールにすれば一年中泳ぐことができる。既存の高松の施設は、ほとんどが老朽化している。

会議経過及び会議結果

その中でその老朽化した施設をやりうまく運営・運用していくには、定期的な修繕や検査をもう少しシビアにやっていると、壊れたから直すといった対策のやり方ではだめだ。早め早めに全体的な施設を見渡して、できるところから計画的にやっていると費用も安くなるし、やっぱり皆が安心、安全で使える施設にして欲しい。

【事務局】

プールに限らず、公共施設については指定管理者が管理している屋島競技場、ループしおのえなど、老朽化が進んでいるのは現実である。このような中、市民プールと牟礼町プールについては、1月1日に条例上廃止した。

高松市としては平成28年12月に公共施設再編整備計画において、ファシリティの考えの中で、効率よく使っていけるような形を選択する中で、市民プールについては廃止を決定した。

市民からの要望等もあり、大規模な修繕が必要となるまでは使用するとしていたところであるが、最終的な決定は、今年の夏に壊れ、直すには多大な費用がかかるということで、やむを得ずに廃止を決定した。

どうしても配管も含めて水を使うプール等についてはかなりの負荷がかかり、かつ屋外のプールについては、ほとんど冬場は野ざらしのような状態になっているので、劣化は激しくなっている。

今回市民プールについて廃止をしたが、市有施設である国分寺のB&G、亀水の屋外プール等、他のプールを代替していくということで考えている。

もう1つ学校プールを効率よく使えたらどうかであるが、過去には夏休みに学校を開放していたこともある。なくなった理由は、誰がついていくのかとか、事故等での責任問題など、現在では難しい状況と思う。

現状で考えたときに、昔に比べてスポーツの多様性を含めて、あと民間のレジャープール等もある中では、学校プールの利用などは施設管理とか安全性・保険的な面からいうと私どもの管轄ではないが、なかなか難しいのではないかと考える。

ただ、市有の施設については今ある施設を大切に使って、その修繕等も定期的にこれからしていくには補助、財政的な効率化とか、限度もあるが、そこは指定管理者に管理をお願いしているような状況の中で、私どもも連携し、予算確保を進めながら、対応していきたい。

【B委員】

水泳のことだが、夏休みのプールは使われていない。学校施設の中で比較新しいプール施設については、試験的に学校開放の一部としてプールに対しスポーツ指導者を派遣して、水泳教室といったかたちで開放、利用ができるのではないかと。学校のプールを夏休み中に使えるということも含めて、やっていけたらいいのかなと思う。

【議長】

子供の水泳について何とかしようということで少しずつ前進をこの夏に向けしている。

【E委員】

鶴尾中学校の運動施設が今、体育館の方はファイブアローズさんとか練習で使って、カマタマーレ讃岐さんが事務所を移転しているが、グラウンドやプールもあったと思う。せっかくあるのにそのまま使わずというよりは何か使えるのではないかと。

他に何か使う予定があるのかなというのをお聞きしたい。

【事務局】

新聞等で鶴尾中学校跡地利用ということでファイブアローズについては体育館を使用、カマタマーレ讃岐が事務所として使用している

会議経過及び会議結果

が、南校舎の方はかなり空いていると思う。

プールもあるかと思うが、今所管としては教育委員会になり、どこを利用するっていうのは教育委員会の対応になる。

【D委員】

倉敷のツーデーマーチという大会に何回か参加したことがあるが、広報がすごくて、北陸の方からもわざわざ1日、2日歩くためだけに来られていた。同じように県外にもウォーキングを発信していけたら、参加者も高松市だけにとどまらずにいろいろ盛り上がるのではないか。県外に発信する方法は、ホームページを見るくらいしかないのか。

【事務局】

県外への発信の仕方としてはホームページ、SNSとかが望ましいと考える。例えばマラソンとか、トライアスロンは市の開催行事として情報発信を行っている。

今回中止にはなっているが、庵治のマラソンでは、通常時だと1500人ぐらいが参加し、県外からも参加者が来ている。民間主導のサポート高松トライアスロンについても、昨年一昨年と中止にはなっているが、それも県外から多くの参加はある。

【C委員】

令和4年度のスポーツイベントを見ていてこのスポーツカーニバル、体力測定と言いましたが、非常に良いと思う。データを測定して、その数字をデータとして置いておき、次の年に来たときに、自分のデータが分かるようにしておければ。今年はこうで来年はこうだというのが分かれば、励みになる。

【大西会長】

今日は広報のことについて、それからスポーツ実施率70%に向けて等々お話いただいた。

次の調査は令和5年で、もう1年ほどしかないというような状況になっている。来年度のアンケート調査の内容についてもこの会議で決めたり、次のスポーツ推進計画の計画をしたりというようなこともあるかと思うので、ぜひまたそれを引き継いでいきたいと考えている。

最後になるが、インターハイのことについて、自転車、フェンシング、新体操、バスケットボール、簡単に御説明もらえるか。

【事務局】

7月26日からバスケットボール競技を皮切りに、高松市総合体育館を中心に、フェンシング競技、新体操競技、そして競輪場で自転車のトラック競技が8月14日までの約3週間、高松市で開催される。

令和4年度のこのインターハイは四国4県で開催という形になっており、徳島県を幹事県に四国4県で実施する。香川県では、高松市のほかに、丸亀、坂出、まんのう、ここで9競技するようになっている。

全国から大勢の高校生、指導者が来られるが、一昨年が残念なことに史上初の開催中止で令和3年度は無観客での開催になっている。

全国高体連の方も、選抜であるとか、高校野球であるとか競技をやっているものもあるので、何とか高校生のために開催という形をとっており、やはり観客の入れ方については何らかの制限が出るのかなと思う。

令和4年度の県予選がゴールデンウィーク明けには決まってくるので、観客の入れ方に関してもゴールデンウィーク前後に発表されるのではと思っている。

全国から大勢の方々が香川県に来る。高校生にはしっかり活躍をするだけでなく、高松に来ていい思い出を作ってもらいたいと考えて

会議経過及び会議結果

おり、我々としても、円滑な大会運営ができるようにしっかり準備して参りたい。

5. 大西会長閉会宣言

全ての議事が終了したことを確認し、大西会長（議長）が閉会を宣言し、閉会した。

